



こや いけ こう えん

## 昆陽池公園 野鳥の観察

いたみ八景の一つです。奈良時代の名僧、行基（ぎょうき）が天平3年（731年）に築造した農業用のため池を昭和43年に一部公園化し、昭和48年に現在の姿となりました。都市部では珍しい「野鳥のオアシス」として関西屈指の渡り鳥の飛来地です。

秋から冬にかけてはカモなど多くの水鳥が飛来し、春には白鳥の抱卵やひなたちを引き連れて泳ぐ可愛い姿を見ることができます。

園内にある昆陽池センターには展望室があります。



こん ちゅう かん

## 昆虫館

公園の北東にあり、1年中生きた昆虫と間近にふれあうことができます。

チョウ温室では南国の花々が咲き乱れる中を舞う、約15種800匹のチョウの姿を身近に見ることができます。また、昆虫の世界を10倍に拡大したジオラマや、珍しい世界の昆虫標本、図書コーナーなどもあり、虫や自然環境について楽しく学べます。



開館時間 9時30分～16時30分

※ただし、入館受付は16時まで／チョウ温室は10時から

休館日 ①毎週火曜日（火曜が祝日の場合は翌日休）②12月29日～31日

※その他、臨時に休館する場合があります。

入館料 大人／400円、中高生／200円、小人／100円

URL <http://www.itakon.com/>

あら まき

こう えん

## 荒牧バラ公園

いたみ八景の一つです。荒牧バラ公園は公園の西側に隣接する天井川である天神川の河川堤防を一部占用し、高低差8メートルの地形変化を利用した立体的なバラ園です。1.7haの園内には、世界のバラ約250種1万株が植栽されています。その中でも、市内の寺西菊雄氏が作出した、「天津乙女」や「マダム・ヴィオレ」は自慢の品種です。また、平和モニュメントが中央にそびえ建ち東側バラ園と西側バラ園に分かれ、アンティークなレンガ積み植込みや列柱、スパニッシュ瓦を葺いた白壁の建物が南ヨーロッパの雰囲気を感じさせバラの美しさや華やかさをより一層引き出させたバラ公園です。

## バラの見頃

春 5月中旬～6月下旬  
秋 10月上旬～11月下旬

## ユニバーサルデザイン

当公園は、8メートルの高低差をもつ公園ですが、スロープを主動線として計画し、健常者と同じレベルで高齢者やあらゆる障害者にバラの魅力を余すところなく楽しんでもいただけるよう配慮しております。

荒牧バラ公園（ローズフォレストいたみ）

〒664-0001 兵庫県伊丹市荒牧6丁目5-50 開園時間／通常 9時～17時 火曜日休館

<http://www.itami.or.jp/kankou/natural/rosepark.html>

詳細は、右記お問い合わせまで お問い合わせ（財）伊丹市公園緑化協会／TEL.072-784-8098 伊丹市みどり課／TEL.072-784-8134

平和モニュメント広場（500m<sup>2</sup>）

故井上武吉氏作の自由・平等・人類愛を象徴とする3本の柱（コラム）を中心に、渦巻き状に掘り込んだ広場が無限の宇宙を表現しています。小さなピラミッドは、死者への弔い。半球体は、生命の誕生。そして真っすぐに伸びた樹木が自然との調和を象徴しています。地下のホールでは3本の柱が深く根を下ろし、静寂の世界となり、瞑想の空間を作りだしています。広場からのエレベーターでは非地下ホールにお立ち寄り下さい。

## 中野稲荷神社

なか の いな り じん じゃ

市の保存樹木が3本（イヌマキ、クスノキ、クロガネモチ）あります。特にイヌマキ（幹周3.1m、推定樹齢400年）



は県下最大で、県の天然記念物に指定されている巨木です。浅野孫左衛門が「新田中野村」を開発した様子も見えていたのでしょうね。

## 鴻池神社

こうの いけ じん じゃ

本殿は、一間社流造り（いっけんしゃながれづくり）で昭和50年に県の文化財に指定されています。前面には拝殿を備え、屋根は柿葺きで、全体の構成や細部の手法は近世初期の神社建築の特徴を備えています。



地車（だんじり）は、体育の日とその前日の祭りに見られます。

## 鴻池稲荷祠碑

こうの いけ いな り し ひ

中国の貨幣「布貨」（春秋、戦国時代に使われた青銅貨幣）を型どった砂岩製のもので、花崗岩製の亀趺（きふ）の上に立っています。全文405文字の碑文からなり、鴻池家の生い立ち、伊丹の酒造りの歴史を知る手掛かりとなります。なお、碑文と書は鴻池家が経済的に支援した、大坂の懷徳堂の教授の中井履軒の手になるものです。



## 容住寺

よう じゅう じ

聖徳太子建立と伝えられる伊丹で唯一の天台宗の古刹です。縁起によると、太子が大坂の四天王寺から中山寺に往還の折、この地の柳の下にある大石に腰掛けて憩いをとっていた時、靈感を受け、「吾れこの所に容（かたち）を住（と）め置きたし。」とお堂を建立して十一面観音を本尊とし、太子16歳の像を安置して容住寺と号したと伝えられています。



なお、寺の周辺には、「太子田」「香の藪」「戒の川」「馬田」等聖徳太子にまつわる旧跡があります。

## 慈眼寺

じ げん じ

寺伝によれば、室町時代の武将赤松則村（円心）の祈禱所であったと伝えられています。嫩桂（どんがい）



永昌が住職となって形が整いました。本尊の木造釈迦如来坐像は、鎌倉時代の慶派仏師の作と伝えられ国指定の重要文化財です。

## 常休寺

じょう きゅう じ

黄檗宗（おうばくしゅう）万福寺を本山とする寺で、新田中野村開発の浅野孫左衛門のゆかりの寺です。孫左衛門をはじめ伊東公（尼崎藩小浜奉行）や忍藩（おしはん）（阿部忠明藩主）ゆかりの人達、さらに、寺子屋酔墨堂（すいぼくどう）で教えた山田龍斎等の墓碑があります。



## 天日神社

てん にち じん じゃ

祭神は天忍穂耳命（あめののおしほみのみこと）。手彫りの地車（だんじり）は、10月第3土・日曜日の祭りに見られます。また、境内は、緑化保全地区に指定されており、ケヤキ、ムクノキ、アベマキの他に市内一のナナミノキの巨木などがあります。



## 地域教育発祥の碑

ち いき ぎょういく はっしょう ひ

素戔嗚（すさの）神社に並んで公園がありますが、ここは稲野小学校中野分教場跡地で、教育発祥の碑があります。伊丹には文化文政年間や天保年間に開業した寺子屋がいくつかありますが、その内の一つに、素戔嗚神社の神官杉山周善が開いた「酔墨堂」がありました。近くにエノキの巨木がありますが、酔墨堂開設時からあったものと思われます。



紹介

荒牧地車



祭開催日 10月第3土・日曜日

鴻池地車



祭開催日 体育の日とその前日

中野太鼓



祭開催日 10月の第4日曜日

## 季節のイベント

赤字がルート付近のイベントです。

## 春

3月・伊丹市民オペラ（いたみホール）  
4月・さくら祭り（昆陽池公園、瑞ヶ池公園ほか）  
・春の宮前まつり（宮ノ前通りほか）  
5月・いたみ緑化フェア&物産フェア（昆陽池公園）  
5月・荒牧バラ公園のバラ見頃（荒牧バラ公園）  
6月

## 夏

7月・ふれあい夏まつり（伊丹小学校）  
8月・いたみ花火大会（猪名川河川敷）  
・鬼貫忌・鬼貫賞発表（柿衛文庫ほか）  
・むぎわら音頭（県指定無形民俗文化財）  
・摂津音頭（市指定無形民俗文化財）など盆踊りが盛ん

## 秋

9月・シルバフェスティバル（サンシティホールほか）  
10月・秋の宮前まつり（宮ノ前通りほか）  
・体育の日のつどい（伊丹スポーツセンターほか）  
・いたみわっしょい（いたみホールほか）  
・ボランティアまつり・農業祭（昆陽池公園）  
10月・伊丹市展（中央公民館）  
11月・荒牧バラ公園のバラ見頃（荒牧バラ公園）  
11月・国際クラフト展（工芸センター）  
・伊丹マダン（伊丹小学校）

## 冬

1月・消防出初式（昆陽池公園）  
・総合防災訓練（猪名川河川敷）  
2月・観梅と野点の会（緑ヶ丘公園）  
・伊丹能（いたみホール）  
・蔵まつり（長寿蔵ほか）

## 交通

スタート地点（昆陽池公園）へは

「阪急伊丹駅」「JR伊丹駅」「JR中山寺駅」から市営バスで、「中野大橋」バス停下車が便利です。バスの所要時間は、それぞれ「阪急伊丹駅」から約15分、「JR伊丹駅」から約21分、「JR中山寺駅」から約12分です。

スタート地点（荒牧バラ公園）へは

「阪急伊丹駅」「JR伊丹駅」「JR中山寺駅」から市営バスで、「荒牧バラ公園」バス停下車が便利です。バスの所要時間は、それぞれ「阪急伊丹駅」から約22分、「JR伊丹駅」から約28分、「JR中山寺駅」から約4分です。

昆陽池公園からお帰りは

（阪急伊丹駅、JR伊丹駅、JR中山寺駅へ）「中野大橋」バス停が便利です。

荒牧バラ公園からお帰りは

（阪急伊丹駅、JR伊丹駅、JR中山寺駅へ）「荒牧バラ公園」バス停が便利です。



●伊丹市交通局（市営バス）

電話 ☎ tel.072-781-3751

QRコードでのアクセスはこちら

携帯電話サイト

☎ <http://www.itamicity-bus.jp/i/>